

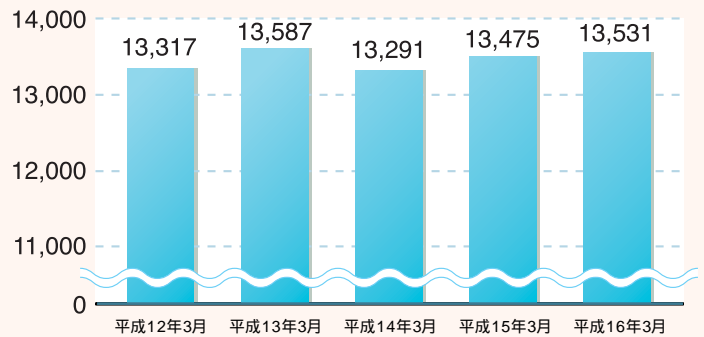
預金残高

預金残高は安定的に推移

預金の期末残高は、期中 56 億円増加して 1 兆 3,531 億円となりました。部門別では、預かり資産の積極的販売により個人預金は減少しましたが、法人および地公体などの預金が増加し、預金全体としては安定的に推移しました。

預金の推移

単位：億円



(注)預金残高は銀行勘定と信託勘定の合計。

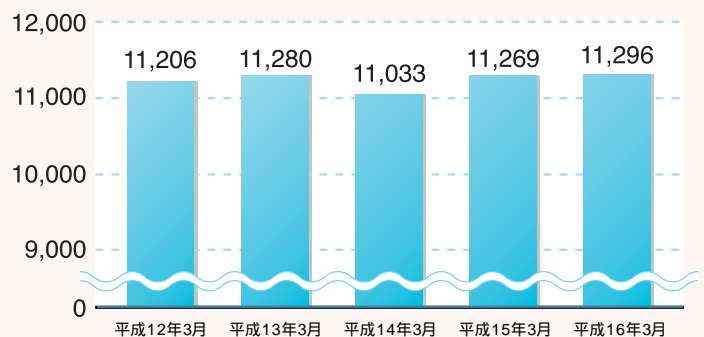
貸出金残高

個人部門、中小企業向け貸出は堅調

貸出金の期末残高は、事業性の資金需要は減退しましたが、住宅ローンを中心とする個人部門の増加などから、期中 27 億円増加して 1 兆 1,296 億円となりました。なお、中小企業向け貸出については、今期新設した融資推進プロジェクト室による営業店の融資推進サポートや、自動審査システムを活用した無担保融資商品の積極的な開発などにより、貸出金償却などを除く純増ベースでは 178 億円の増加となりました。

貸出金の推移

単位：億円



自己資本比率

自己資本比率は10%を上回る高水準

自己資本比率は、経営の安全性や健全性を図る指標の一つで、企業の利益や資本金などが貸出金などの資産規模に比べてどの程度充実しているかを表します。この比率は、国内のみで営業している銀行は4%(国内基準)以上、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上が必要です。当行の自己資本比率は、国内基準の2倍以上となる10.40%の高い水準です。

自己資本比率の推移

単位：%

